

市営バスは移動だけでなく、 暮らしやまち全体を支えています。

市と連携している高槻市営バスだからこそできる

クロスセクターベネフィット (たかつきモデル)

市の福祉・健康・まちづくりなどの部門と密に連携し、
市全体の利益(ベネフィット)やプロモーションに貢献しています。

子育て支援

- ・このとりパス
- ・かるがもバス
- ・市内小学生運賃
無料制度 (R9.4~)
- ・U-15おでかけバス

子育て世代や
子ども達の移動を支援

健康づくり

- ・外出機会の創出
- ・健康寿命の延伸
に貢献

健康づくり・
医療費抑制を支援

シティプロモーション



- ・バスラッピング
 - ・イベントや観光施策との連携
- まちの魅力発信に貢献

「動く市道」として
まちのさまざまな分野と連携

高齢者支援

- ・高齢者無料
(割引) 乗車制度

高齢者の外出機会を増やし、
いきいきとした暮らしを支援

移動弱者 支援

- ・福祉割引制度

あらゆる人の
移動を支援

まちへの
広がり

市と市営バスの連携が、高槻の「住みよさ」を支える力に。

健康的に暮らせるまち
府内トップクラス
健康寿命(大阪府統計)

市民が誇りに感じるまち
全国 **3 位**
シビックプライドランキング2025
(読売広告社都市生活研究所)

選ばれるまち
6年連続転入増
転入・転出者数比較

厳しい経営環境ではありますが、今後もより一層努力し、大阪府内
唯一の公営バスを堅持し、「動く市道」の役割を果たしていきます。

これからも安心して、市営バスをご利用ください。



物価高で経営は大丈夫?

バス運転士も不足しているの?



皆さまの「ギモン」に
お答えします!

知ってほしい、 市営バスの 「いま」

これからも
“動く市道”
を守るために



市営バスの事業経営についての3つのポイント



1 利用者数・
運送収益の増加

- ・利用者数は増加傾向
- ・ダイヤの効率化等により
運送収益も増加



2 各種費用の高騰・
運転士不足

- ・費用の増加が収益の増加を
上回り、2年連続の赤字
- ・全国的な運転士不足の中、
将来的な人員確保も課題



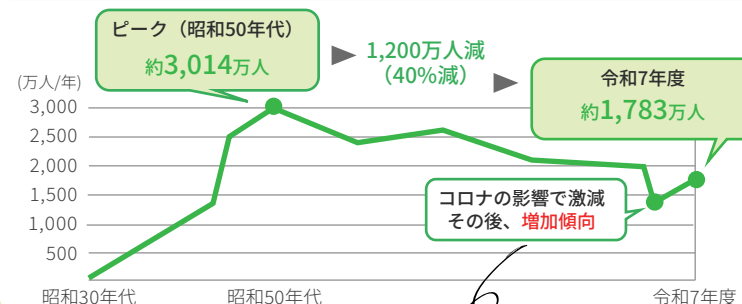
3 暮らしを支える
公営バス

- ・収益性だけでは判断できない
「地域に必要な移動」を守ります
- ・市と連携し、これからも“動く
市道”の役割を果たします



コロナ以降、**利用者が増加、収入も増加。**
それでも**経営環境は厳しくなっています。**

市営バスの利用者数の推移

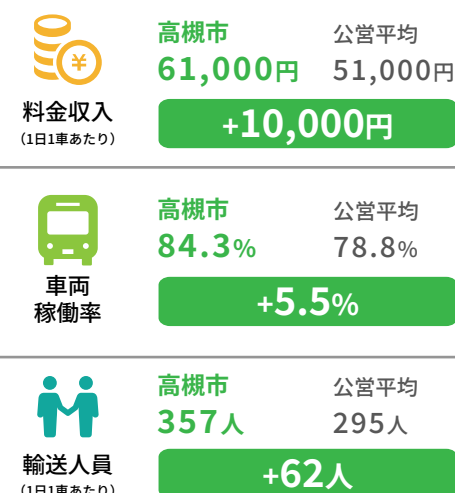


コロナ以降の改善状況 (令和3～7年度)



皆さまのご利用と創意工夫により
ここまで改善しています！
他の公営バスと比べても、
高い水準で運営しています！

他の公営バス17社平均との比較



しかし…
運送収益↑ < 費用↑

厳しい経営環境が続く見通し…

どうしても避けられない費用の増加が続いています…

燃料単価の高騰 人件費の高騰

2年連続で厳しい収支

令和6年度：▲1.2億円
令和7年度：▲1.6億円

利用者の増加や経営努力で、
収益が増えても、それ以上に
費用が増えていて、
厳しい経営が続いています…



もっと利用しやすい市営バスへ！

市営バスサービス向上のため、
未来へ向けた投資も検討中です。

例えば！

- 環境に配慮したバス車両の導入
- キャッシュレス決済対応の
新型運賃箱の導入
- バス停のDX化
(スマートバス停)



厳しい経営環境ですが、これからも
創意工夫やお客様サービスの向上等
に、引き続き取り組んでいきます！

ぜひ、今後も高槻市営バスを
ご利用ください！



皆さまにご利用いただくことが、地域の公共交通を守り、
将来にわたって安全・安心な運行を続ける力になります。



運転士数は**横ばい**をキープ。将来的には
運転士が減少し、路線維持が厳しくなる恐れも…

全国的な人員不足

- 大型二種免許保有者の減少
- 免許保有者の高齢化
- “2024年問題”による必要人員増

大変です…

Check!

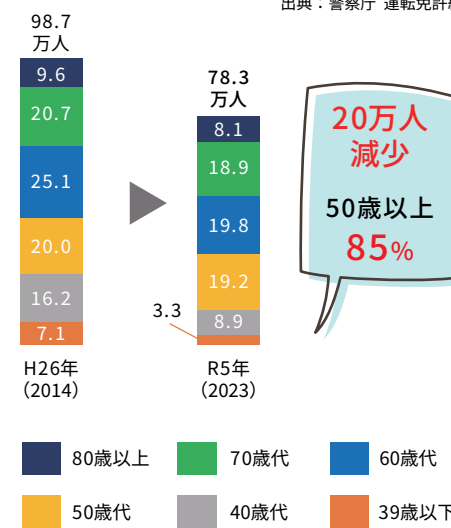
全国的な運転士の争奪が激化

待遇改善が必要に！
(人件費↑)



大型二種免許保有者数

出典：警察庁 運転免許統計



高槻市営バスの運転士数

現状：ほぼ横ばい

▲5人
(令和3～7年度)

しかし、今後…

10年間で約70人が定年退職 (予定)

全国的に、**運転士不足**による
路線の廃止や減便が相次いでいます…

Check!

京阪神エリアバス会社 平均年齢・運転士増減数 (令和3～7年度の増減)



※京阪神エリアの主な公営・民間バス会社（運転士数150人以上）が対象

“2024年問題”とは？

2024年4月から運転士の労働環境改善のため、時間外労働の
上限規制などが厳格化されました。



高槻市営バスの取組

- 免許取得助成制度などによる採用強化
- 待遇改善による働きやすい環境づくり
- 効率的なダイヤの工夫と安全安心な運行の徹底

収益性だけでは判断できない「地域に必要な移動」を守りながら、
効率的な経営に努め、持続可能な公共交通の実現を目指しています。

